

# 1本400~700グラムの大きいナス あいちの伝統野菜「奥三河天狗ナス」本格出荷！

【7月23日（金）13：30～出荷目ぞろえ会を開催】

JA愛知東（新城市／海野文貴組合長）管内の北設地域で、あいちの伝統野菜に認定される「奥三河天狗ナス」の出荷が6月25日に始まりました。設楽町津具地区が発祥で、1本400～700グラムと大きな形と、そのユニークな名前が相まって、販売する県内の大手量販店や管内のJA直売所では消費者の注目を集めています。今シーズンは、5月の夜温が低かった影響から平年よりやや遅い初出荷となり、本格出荷を前にした7月23日（金）には、生産者やJA担当者が集まり、規格や等級を確認する出荷目ぞろえ会を開催します。

## 「奥三河天狗ナス」出荷目ぞろえ会

日時：令和3年7月23日（金）13：30～

場所：JA愛知東・北設営農センター集荷場（北設楽郡設楽町津具字本間7）

※農繁期に伴い、ほ場取材の調整は10日前までに問い合わせいただいた場合に限りさせていただきます。

## 奥三河天狗ナスとは・・・

果実は1本400～700グラムと大型で、大きいものは1キロを超えるものもあります（長ナスの約5倍）。戦前から津具地区を中心に栽培され、稀に見られる鼻付きのユニークな奇形果が天狗に似ていたことから、地元（津具地区）に古くから伝わる天狗伝説にちなんで名付けられました。水分を多く含むため果肉がやわらかく、とろっとした食感は「ナス界の大トロ」と表現されるほど。焼きナスなどの加熱調理に適し、まろやかな旨味が特徴の品種です。

## JA愛知東「奥三河天狗ナス保存会」概要

- ・ 会員戸数：出荷者8戸 ・ 栽培面積：31a
- ・ 産地：設楽町（津具地区・名倉地区）、豊根村
- ・ 出荷期間：6月下旬～11月（8月上旬最盛）
- ・ 出荷先：名古屋市や浜松市の市場 ほか
- ・ 出荷実績：7,900本（2020年度）
- ・ 出荷計画：8,100本（2021年度）

※実績・計画は市場等への出荷量で、生産量とは異なります。



▲目ぞろえ会の様子

## あいちの伝統野菜とは・・・

愛知県では、①今から50年前には栽培されていたもの、②地名、人名がついているなど愛知県に由来するもの、③今でも種や苗があるもの、④種や生産物が手に入るものの4つを定義に35品種を「あいちの伝統野菜」として認定しています。

【お問い合わせ先】 JA愛知東 総合企画部 企画管理課 （広報担当：河口）

TEL：0536-22-0014

FAX：0536-24-1585

携帯：090-8561-8843

E-mail：janbo@infonia.ne.jp

※取材の際は、事前に上記までご連絡ください。

※この情報は、JAグループ愛知記者会、新城市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。